

米国小型株サステナブル グロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

運用報告書（全体版） 第6期

(決算日 2022年8月15日)
(作成対象期間 2022年2月16日～2022年8月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2019年12月2日～2029年8月15日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドの受益証券
	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近 5 期の運用実績

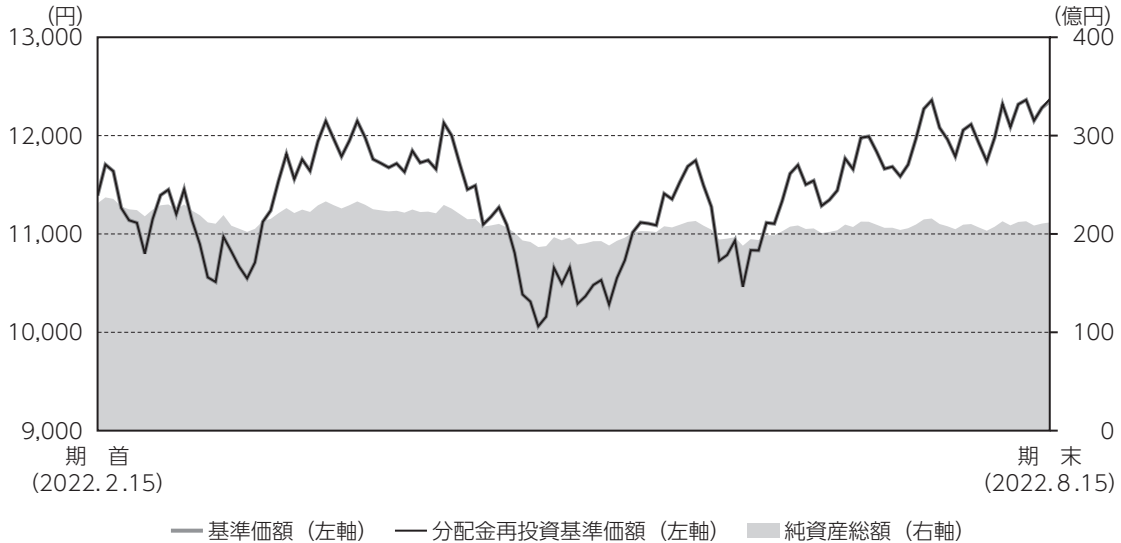
決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 期 中 分 配 金 騰 落 率			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額 総
		税 分	込 配	期 中 騰 落 率			
2 期末 (2020年 8 月 17 日)	円 11,537	円 250		% 10.1	% 95.8	% －	百万円 14,814
3 期末 (2021年 2 月 15 日)	13,712	1,400		31.0	93.5	－	14,671
4 期末 (2021年 8 月 16 日)	12,217	700		△ 5.8	94.4	－	21,000
5 期末 (2022年 2 月 15 日)	11,391	0		△ 6.8	93.1	－	23,117
6 期末 (2022年 8 月 15 日)	12,351	20		8.6	97.0	－	21,170

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：11,391円

期 末：12,351円（分配金20円）

騰落率：8.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

保有している米国小型株式が下落したことなどがマイナス要因となりましたが、為替相場において米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率
		騰 落 率		
(期首) 2022年2月15日	円	%	%	%
	11,391	—	93.1	—
2月末	11,394	0.0	94.4	—
3月末	11,968	5.1	96.4	—
4月末	11,175	△1.9	96.4	—
5月末	11,117	△2.4	94.5	—
6月末	11,542	1.3	97.0	—
7月末	12,114	6.3	97.6	—
(期末) 2022年8月15日	12,371	8.6	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022.2.16～2022.8.15)

■米国小型株式市況

米国小型株式市場は下落しました。

米国小型株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、2022年3月半ばにかけて下落しました。F R Bの利上げ決定後は一時的に反発しましたが、4月から6月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで、当作成期末にかけて下げ幅を縮めました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドルの対円為替相場は、2022年3月にF R Bが政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図ったため、円安米ドル高が大きく進行了。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり、米ドルが下落する局面もありましたが、米国の大幅利上げによって日米金利差が拡大したことから、円安米ドル高傾向が続きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選して投資します。強固なバランスシートを持ち、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業に注目しています。

長期的に見て、相対的に情報の効率性の低い小型株市場が収益獲得の大きな機会を有すると考えています。マクロ経済の状況にかかわらず、見落とされている競争優位性の持続する銘柄の発掘に引き続き注力してまいります。

ポートフォリオについて

(2022.2.16～2022.8.15)

当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。業種では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターなどを高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年2月16日 ～2022年8月15日	
当期分配金（税込み）	（円）	20
対基準価額比率	（％）	0.16
当期の収益	（円）	20
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,620

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	24.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		2,262.97
(d) 分配準備積立金		353.42
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,640.81
(f) 分配金		20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,620.81

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。今後は、金融引き締め局面がしばらく続くと予想され、小型株内での銘柄の取捨選択が進むと考えており、利益成長が予想されるハイクオリティ企業を見極めることが重要な局面にあるとみています。十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、優位性を発揮するものと考えます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.2.16~2022.8.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	111円	0.971%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,395円です。
(投 信 会 社)	(65)	(0.573)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.025	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.025)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.021	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.013)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	116	1.017	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

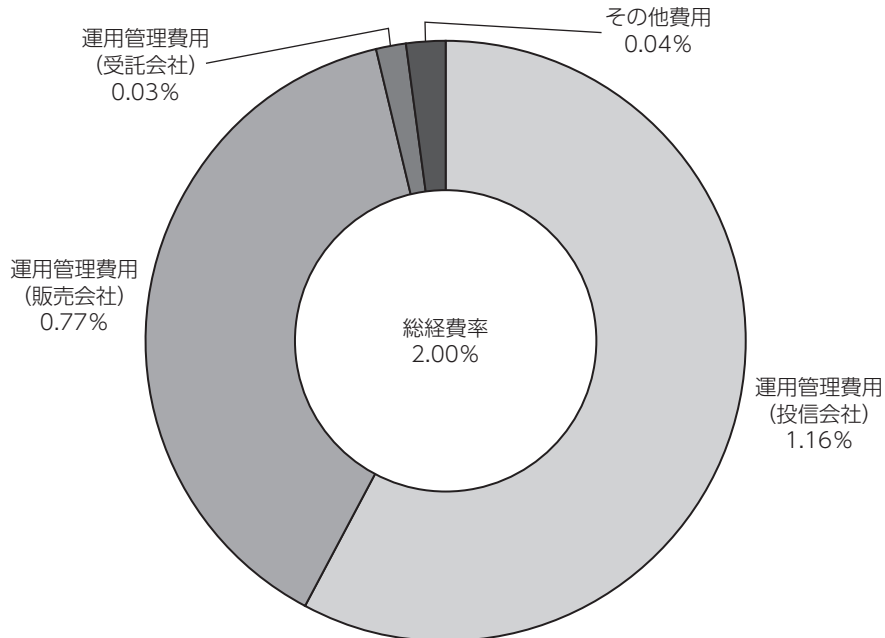
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年2月16日から2022年8月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	80,894	120,000	2,697,547	3,869,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2022年2月16日から2022年8月15日まで)

項 目	当 期
	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,724,594千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	20,578,438千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.32

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	16,032,610	13,415,957	21,122,083

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年8月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	21,122,083	98.5
コール・ローン等、その他	312,399	1.5
投資信託財産総額	21,434,482	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝132.97円です。
(注3) 米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（21,081,369千円）の投資信託財産総額（21,432,007千円）に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	21,434,482,410円
コール・ローン等	2,399,045
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド(評価額)	21,122,083,365
未収入金	310,000,000
(B) 負債	264,225,835
未払収益分配金	34,281,887
未払解約金	24,536,368
未払信託報酬	204,832,305
その他未払費用	575,275
(C) 純資産総額(A－B)	21,170,256,575
元本	17,140,943,517
次期繰越損益金	4,029,313,058
(D) 受益権総口数	17,140,943,517口
1万口当り基準価額(C／D)	12,351円

* 期首における元本額は20,294,966,788円、当作成期間中における追加設定元本額は513,435,097円、同解約元本額は3,667,458,368円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,351円です。

■損益の状況

当期 自2022年2月16日 至2022年8月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 15,700円
受取利息	1,686
支払利息	△ 17,386
(B) 有価証券売買損益	1,884,317,305
売買益	2,044,001,052
売買損	△ 159,683,747
(C) 信託報酬等	△ 205,407,580
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,678,894,025
(E) 前期繰越損益金	△1,494,245,628
(F) 追加信託差損益金	3,878,946,548
(配当等相当額)	(3,768,611,065)
(売買損益相当額)	(110,335,483)
(G) 合計(D + E + F)	4,063,594,945
(H) 収益分配金	△ 34,281,887
次期繰越損益金(G + H)	4,029,313,058
追加信託差損益金	3,878,946,548
(配当等相当額)	(3,768,611,065)
(売買損益相当額)	(110,335,483)
分配準備積立金	613,384,647
繰越損益金	△ 463,018,137

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：68,155,318円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	41,866,364円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	3,878,946,548
(d) 分配準備積立金	605,800,170
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,526,613,082
(f) 分配金	34,281,887
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	4,492,331,195
(h) 受益権総口数	17,140,943,517口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	20円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2022年8月15日）

（作成対象期間 2021年8月17日～2022年8月15日）

米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

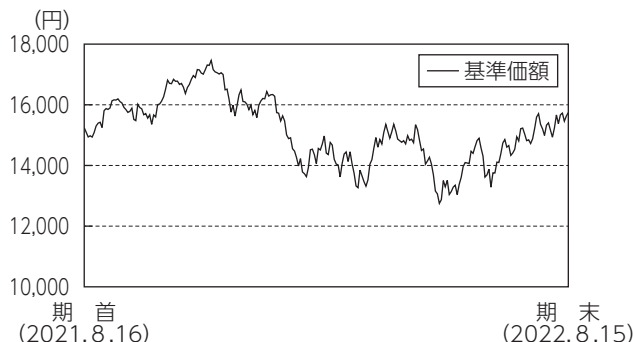
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。 また、D R（預託証券）を含みます。）
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
	円	騰 落 率		
(期首) 2021年 8月16日	15,244	—	95.8	—
8 月末	15,875	4.1	91.6	—
9 月末	15,711	3.1	92.5	—
10 月末	16,569	8.7	94.8	—
11 月末	16,517	8.4	92.7	—
12 月末	16,330	7.1	92.1	—
2022年 1 月末	13,935	△8.6	91.7	—
2 月末	14,375	△5.7	94.6	—
3 月末	15,126	△0.8	96.3	—
4 月末	14,147	△7.2	96.1	—
5 月末	14,096	△7.5	94.1	—
6 月末	14,656	△3.9	96.4	—
7 月末	15,403	1.0	96.9	—
(期末) 2022年 8月15日	15,744	3.3	97.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,244円 期末：15,744円 騰落率：3.3%

【基準価額の主な変動要因】

保有している米国小型株式が下落した一方で、為替相場において米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国小型株式市況

米国小型株式市場は下落しました。

米国小型株式市況は、当作成期首より2021年9月末にかけて、米国の量的金融緩和の早期縮小観測などから横ばい圏での推移が続きました。10月に入ると、良好な企業決算の発表を受けて上昇しましたが、物価の上昇加速による早期利上げ観測や、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感などから、年末にかけて軟調に推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）に

よる金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、株価は3月半ばにかけて下落しましたが、F R Bの利上げ決定後は一時的に反発しました。4月から6月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで、当作成期末にかけて下げ幅を縮めました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを要因として上昇しました。その後は、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて、2022年2月まで緩やかな上昇基調で推移しました。3月にF R Bが政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図ったため、円安米ドル高が大きく進行しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり、米ドルが下落する局面もありましたが、米国の大幅利上げによって日米金利差が拡大したことから、円安米ドル高傾向が続きました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。今後は、金融緩和と政策の解除が見込まれる中で、米国株全体のバリュエーションがさらに上昇していくことを期待していくことは難しいと考えており、利益成長が予想されるハイクオリティ企業を見極めることが重要な局面であるとみています。十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、優位性を発揮するものと考えます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。業種では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターなどを高位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。今後は、金融引き締め局面がしばらく続く予想され、小型株内での銘柄の取捨選択が進むと考えており、利益成長が予想されるハイクオリティ企業を見極めることが重要な局面にあるとみています。十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、優位性を発揮するものと考えます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	5円 (5)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (1) (4)
合 計	10

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
株 式

(2021年 8 月 17 日から 2022 年 8 月 15 日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		23,842.7 (△ 262.38)	56,301 (△ 3,081)	16,361.96	42,747

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
株 式

(2021年 8 月 17 日から 2022 年 8 月 15 日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
DUCK CREEK TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		243.876	658,981	2,702	BILL.COM HOLDINGS INC (アメリカ)		34.075	996,742	29,251
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR (イギリス)		264.5	613,776	2,320	OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI (アメリカ)		94.234	752,460	7,985
SERVISFIRST BANCSHARES INC (アメリカ)		63.681	592,091	9,297	CHEFS' WAREHOUSE INC/THE (アメリカ)		92.539	452,618	4,891
REVOLVE GROUP CLASS A INC (アメリカ)		156.472	591,213	3,778	FOX FACTORY HOLDING CORP (アメリカ)		28.6	396,599	13,867
FOX FACTORY HOLDING CORP (アメリカ)		29.7	516,972	17,406	RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC (アメリカ)		58	285,283	4,918
HOLLEY INC (アメリカ)		289.892	398,398	1,374	RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR (イギリス)		116.3	229,514	1,973
DREAM FINDERS HOMES INC CLASS A (アメリカ)		151.101	313,243	2,073	AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR (イギリス)		952	225,314	236
BILL.COM HOLDINGS INC (アメリカ)		9.4	293,863	31,262	AUTOHOME INC-ADR (ケイマン諸島)		45.039	196,412	4,360
GOOSEHEAD INSURANCE INC -A (アメリカ)		40.264	286,829	7,123	SERVISFIRST BANCSHARES INC (アメリカ)		15.9	170,909	10,749
AUTOHOME INC-ADR (ケイマン諸島)		61.163	279,731	4,573	MORNINGSTAR INC (アメリカ)		5.04	163,368	32,414

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	柄	期 首		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
AUTOHOME INC-ADR		1,086.01	1,247.25	4,394	584,278	コミュニケーション・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC		115.68	109.28	4,820	640,917	金融
INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A		932.11	892.61	5,818	773,742	金融
ASPEN TECHNOLOGY INC		434.37	—	—	—	情報技術
MORNINGSTAR INC		282.95	275.55	7,098	943,843	金融
MARKETAXESS HOLDINGS INC		101.58	101.28	2,743	364,772	金融
PRICESMART INC		244.78	194.49	1,280	170,245	生活必需品
AAON INC		982.97	971.97	5,998	797,686	資本財・サービス
SPS COMMERCE INC		324.89	299.89	3,916	520,785	情報技術
SERVISFIRST BANCSHARES INC		351.92	829.73	7,643	1,016,352	金融
U.S. PHYSICAL THERAPY INC		357.58	332.58	2,961	393,763	ヘルスケア
NVE CORP		134.9	130.9	688	91,502	情報技術
FOX FACTORY HOLDING CORP		1,055	1,066	11,880	1,579,759	一般消費財・サービス
CHEFS' WAREHOUSE INC/THE		815.39	—	—	—	生活必需品
HEICO CORP-CLASS A		418.5	387.5	5,062	673,134	資本財・サービス
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR		46,523.23	45,003.23	8,730	1,160,911	コミュニケーション・サービス
GOOSEHEAD INSURANCE INC -A		263.64	666.28	4,518	600,764	金融
GROCERY OUTLET HOLDING CORP		988.95	858.95	3,479	462,683	生活必需品
OPORTUN FINANCIAL CORP		771.91	691.91	532	70,842	金融
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR		3,567.28	5,049.28	8,028	1,067,523	コミュニケーション・サービス
OMEGA FLEX INC		255.18	328.6	4,016	534,027	資本財・サービス
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI		1,365.26	622.92	4,090	543,942	一般消費財・サービス
AVALARA INC		422.9	430.4	3,970	527,949	情報技術
BLACKLINE INC		712.45	705.45	4,921	654,374	情報技術
MESA LABORATORIES INC		71.55	60.55	1,187	157,918	ヘルスケア
NATIONAL RESEARCH CORP		688.02	608.02	2,191	291,377	ヘルスケア
BILL.COM HOLDINGS INC		856.09	609.34	9,605	1,277,261	情報技術
NCINO INC		761.13	—	—	—	情報技術
DUCK CREEK TECHNOLOGIES INC		1,444.66	3,683.42	5,197	691,085	情報技術
MEDIAALPHA INC-CLASS A		1,219.86	1,725.95	1,513	201,271	コミュニケーション・サービス
OLO INC - CLASS A		564.48	664.48	548	72,981	情報技術
RYAN SPECIALTY GROUP HOLDINGS INC		2,972	2,829	12,716	1,690,893	金融
DREAM FINDERS HOMES INC CLASS A		—	1,511.01	1,950	259,386	一般消費財・サービス
NCINO INC		—	781.13	2,897	385,242	情報技術
ASPEN TECHNOLOGY CORP		—	172.99	3,743	497,750	情報技術
HOLLEY INC		—	2,898.92	1,904	253,253	一般消費財・サービス
REVOLVE GROUP CLASS A INC		—	1,564.72	4,457	592,765	一般消費財・サービス
ファンド合計	株数、金額 総額<比率>	71,087.22 32銘柄	78,305.58 34銘柄	154,508	20,544,990 <97.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年8月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	20,544,990	95.9
コール・ローン等、その他	887,017	4.1
投資信託財産総額	21,432,007	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝132.97円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（21,081,369千円）の投資信託財産総額（21,432,007千円）に対する比率は、98.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	21,432,007,479円
コール・ローン等	860,254,447
株式(評価額)	20,544,990,067
未収入金	23,347,178
未収配当金	3,415,787
(B) 負債	310,000,000
未払解約金	310,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	21,122,007,479
元本	13,415,957,422
次期繰越損益金	7,706,050,057
(D) 受益権総口数	13,415,957,422口
1万口当り基準価額(C／D)	15,744円

* 期首における元本額は13,574,734,055円、当作成期間中における追加設定元本額は3,510,958,731円、同解約元本額は3,669,735,364円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：米国小型株サステナブルグロース・ファンド 13,415,957,422円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,744円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月17日 至2022年8月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	102,513,980円
受取配当金	102,490,434
受取利息	221,932
支払利息	△ 198,386
(B) 有価証券売買損益	177,140,280
売買益	6,833,677,572
売買損	△6,656,537,292
(C) その他費用	△ 7,768,722
(D) 当期損益金(A + B + C)	271,885,538
(E) 前期繰越損益金	7,118,387,886
(F) 解約差損益金	△1,759,264,636
(G) 追加信託差損益金	2,075,041,269
(H) 合計(D + E + F + G)	7,706,050,057
次期繰越損益金(H)	7,706,050,057

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。